

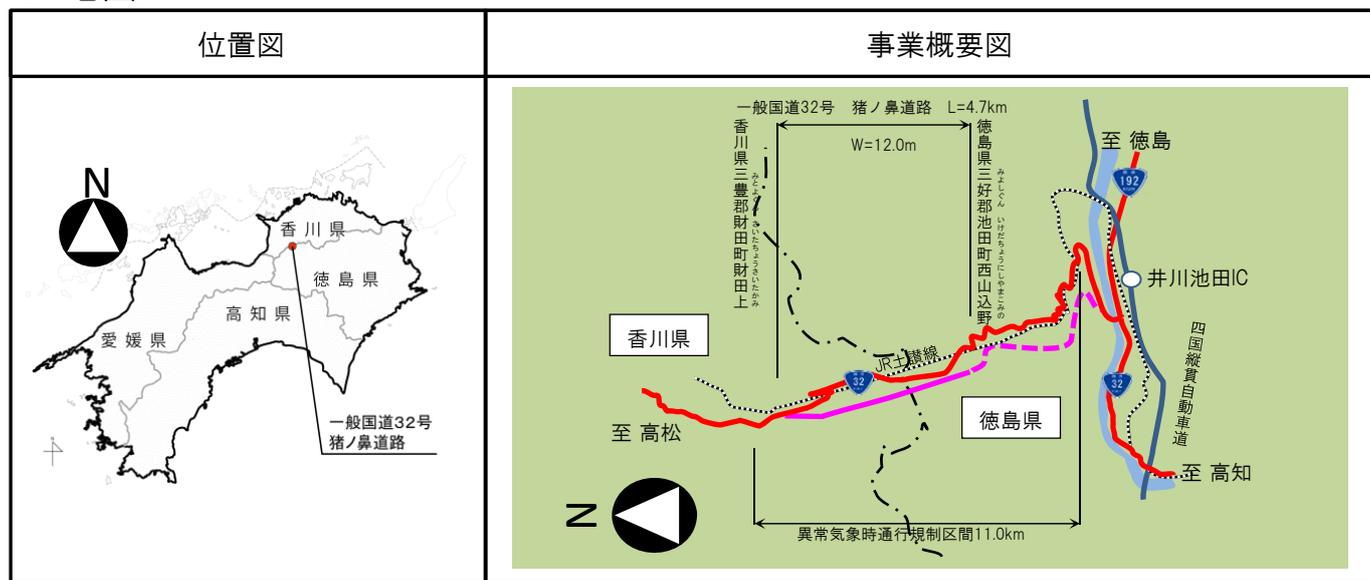
1. 目的・必要性

猪ノ鼻道路は
 (1) 道路線形の改善
 (2) 物流の効率化
 (3) 道路の防災対策・危機管理の充実
 などを目的とした事業です

2. 費用と効果の確認

本事業にかかる費用と生じる便益により、算出される費用便益費は1.7となります。
 費用便益費=1.7

3. 地図



4. 事業概要

(平成15年度新規事業化箇所)

事業名	事業区分	事業主体	起終点	延長	全体事業費
一般国道32号 猪ノ鼻道路	一般国道	国土交通省 四国地方整備局	自：香川県三豊郡財田町財田上 至：徳島県三好郡池田町西山込野	4.7km	240億円

(1) 道路線形の改善

一般国道32号は、見通しの悪い急カーブや坂道が多いため、走行性が低く交通事故も多発しています。



急カーブ箇所



交通事故 (トラックの横転)

猪ノ鼻道路を整備することによって

急カーブ等が改善され、安定した走行が可能となり、交通事故の減少につながります。

(2) 物流の効率化

一般国道32号には、県境の猪ノ鼻トンネルをはじめ、ISO規格背高コンテナ輸送車が通行できない区間が存在しています。

猪ノ鼻道路を整備することによって

ISO規格背高コンテナ輸送車が通行可能となり、物流の効率化が期待されます。

(3) 道路の防災対策・危機管理の充実

一般国道32号は、緊急輸送道路ネットワークに位置づけられているが、防災上危険な箇所が集中しており、異常気象時通行規制区間も存在しています。



路肩崩壊



土砂崩れ

猪ノ鼻道路を整備することによって

土砂崩れや路肩崩壊等のない安全性の高いルートが確保され、危機管理の充実が図られます。

(4) 費用と効果の確認

道路整備の効果は多種多様ですが、このうち金額に換算できる効果に限定して、もたらされる便益を算出すると340億円となります。これに対して、建設や維持管理にかかる費用は202億円です。したがって、本事業にかかる費用と生じる便益より算出される費用便益費は1.7となります。

総費用		総便益			計画交通量	基準年
事業費	維持管理費	走行時間短縮便益	走行費用減少便益	交通事故減少便益		
202億円		340億円				
186億円	16億円	326億円	10億円	4億円	7,400台/日	平成15年

※費用、便益は、供用開始後40年後までに発生するものを現在の価値に換算した上で、合計して算出しています。